

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2017年度 パフォーマンス向上会議情報(2017年11月29日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2017年11月29日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【3号機使用済燃料プール循環冷却設備一次系ポンプのトリップについて】 3号機使用済燃料プール循環冷却システム一次系の共通系統隔離弁の「閉」信号が入ったため、運転中の3号機SFP循環冷却設備一次系ポンプ(B)がトリップし、冷却が停止。なお、冷却は停止したが有意な温度上昇はなかった。原因は、当該弁近傍での配管塗装作業中に、作業員が「閉」位置検出スイッチに接触したと推定。当該弁及び系統に異常のないことを確認し、接触注意表示を取付、系統を再起動。	G I
2	【増設多核種除去設備吸着塔5Cスクリーンの折損について】 増設多核種除去設備吸着塔5Cの吸着材採取作業において、吸着塔内部の下部に設置しているスクリーン(吸着塔に充填した吸着材が下流へ流出しないようにするフィルタ)が折損していることを確認。当該吸着塔は3塔あり、残りの2塔で処理運転可能であることから当該吸着塔修理までの間バイパス運転で対応。	G III
3	【純水装置(A)系 イオン交換樹脂塔A点検用マンホールフランジからのにじみについて】 水処理設備の純水装置(A)系を運転中、イオン交換樹脂塔A点検用マンホールフランジ下部から1秒に1滴の滴下を確認。当該フランジ部を点検修理予定。	G III